

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年2月期1Q	189,445,284株	2020年2月期	189,445,284株
2021年2月期1Q	2,664,150株	2020年2月期	2,664,750株
2021年2月期1Q	186,780,618株	2020年2月期1Q	186,778,886株

(注) 1. 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式には、従業員インセンティブ・プラン「従業員向け株式交付信託型ESOP」制度に係る信託財産として、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)が所有している当社株式を含めております。

2. 2020年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、2019年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 当社グループは、国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。
(2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	12

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末から22,871百万円増加し、40,790百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動によって使用した資金は8,653百万円(前連結累計期間は5,143百万円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期損失7,949百万円、減価償却費4,336百万円を計上したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動によって使用した資金は972百万円(前年同期比56.8%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,470百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動によって得られた資金は32,541百万円(前年同期は62百万円の収入)となりました。これは主に、リース負債の返済による支出3,091百万円、長期借入金の返済による支出1,402百万円があった一方で、短期借入金の純増額35,040百万円、長期借入による収入2,008百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の見通しといたしましては、当社グループの店舗は、「緊急事態宣言」を受け、一時休業となる商業施設内にある店舗や繁華街の居酒屋業態等において、多くの店舗が一時休業を余儀なくされたほか、営業時間を短縮している店舗も多数あることから、業績予想を未定としておりましたが、緊急事態宣言の解除に伴い、引き続き営業時間の短縮等があるものの、少しずつ経済活動が再開されたことに鑑み、業績予想を修正いたしました。

2021年2月期の通期の業績予想につきましては、2020年7月14日公表の「連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		17,918	40,790
営業債権及びその他の債権		5,113	3,913
その他の金融資産		545	20
棚卸資産		994	772
その他の流動資産		1,341	1,379
流動資産合計		25,913	46,876
非流動資産			
有形固定資産		77,027	76,034
のれん		24,485	24,424
無形資産		6,825	6,654
その他の金融資産		11,661	11,369
繰延税金資産		4,047	3,990
その他の非流動資産		36	33
非流動資産合計		124,083	122,507
資産合計		149,997	169,383

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上収益	31,950	11,812
売上原価	△9,092	△3,633
売上総利益	22,858	8,179
販売費及び一般管理費	△20,288	△19,076
その他の営業収益	684	3,710
その他の営業費用	△429	△541
営業利益又は営業損失(△)	2,824	△7,728
金融収益	91	1
金融費用	△117	△222
税引前四半期利益又は税引前四半期損失(△)	2,798	△7,949
法人所得税費用	△1,015	28
四半期利益又は四半期損失(△)	1,783	△7,920
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,539	△7,304
非支配持分	243	△616
四半期利益又は四半期損失(△)	1,783	△7,920
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益又は基本的1株当たり四半期損失(△)	8.24	△39.11
希薄化後1株当たり四半期利益又は希薄化後1株当たり四半期損失(△)	8.24	△39.11

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期利益又は四半期損失(△)		1,783	△7,920
その他の包括利益			
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		△33	△193
項目合計		△33	△193
その他の包括利益合計		△33	△193
四半期包括利益		1,749	△8,114
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		1,506	△7,498
非支配持分		243	△616
四半期包括利益		1,749	△8,114

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分										
	注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成 要素		合計	合計	非支配 持分	資本 合計
						在外営業 活動体の 換算差額	合計				
2019年3月1日残高		1,012	3,071	13,551	△1,253	△20	△20	16,361	7,635	23,996	
会計方針の変更による 累積的影響額		—	—	△386	—	—	—	△386	△53	△439	
2019年3月1日残高(修正 後)		1,012	3,071	13,164	△1,253	△20	△20	15,974	7,582	23,557	
四半期利益		—	—	1,539	—	—	—	1,539	243	1,783	
その他包括利益		—	—	—	—	△33	△33	△33	—	△33	
四半期包括利益		—	—	1,539	—	△33	△33	1,506	243	1,749	
配当金		—	—	△560	—	—	—	△560	△120	△681	
連結子会社に対する持 分変動に伴うその他資 本剰余金の増減		—	△6	—	—	—	—	△6	△6	△13	
株式報酬取引		—	30	—	—	—	—	30	—	30	
その他		—	0	—	0	—	—	0	—	0	
所有者との取引額等合計		—	23	△560	0	—	—	△536	△126	△663	
2019年5月31日残高		1,012	3,095	14,144	△1,253	△53	△53	16,944	7,698	24,643	

当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分										
	注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成 要素		合計	合計	非支配 持分	資本 合計
						在外営業 活動体の 換算差額	合計				
2020年3月1日残高		1,012	3,153	13,317	△1,252	59	59	16,289	7,899	24,188	
四半期損失(△)		—	—	△7,304	—	—	—	△7,304	△616	△7,920	
その他包括利益		—	—	—	—	△193	△193	△193	—	△193	
四半期包括利益		—	—	△7,304	—	△193	△193	△7,498	△616	△8,114	
配当金		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
連結子会社に対する持 分変動に伴うその他資 本剰余金の増減		—	△1	—	—	—	—	△1	2	0	
株式報酬取引		—	30	—	—	—	—	30	—	30	
その他		—	△0	—	0	—	—	0	△0	0	
所有者との取引額等合計		—	29	—	0	—	—	29	2	31	
2020年5月31日残高		1,012	3,182	6,013	△1,251	△134	△134	8,821	7,284	16,106	

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 注記 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益又は税引前四半期損失(△)	2,798	△7,949
減価償却費	3,716	4,336
減損損失	341	296
受取利息	△2	△1
支払利息	105	151
固定資産売却損益(△は益)	△1	0
固定資産除却損	23	7
棚卸資産の増減	△44	219
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	△520	1,160
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)	425	△3,041
退職給付に係る負債の増減(△は減少)	1	8
引当金の増減(△は減少)	△146	57
その他の増減	△331	△2,876
小計	6,366	△7,632
利息及び配当金の受取額	2	1
利息の支払額	△96	△141
法人所得税の支払額	△1,146	△881
法人所得税の還付額	17	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,143	△8,653
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△42
定期預金の払戻による収入	—	567
有形固定資産の取得による支出	△630	△1,470
有形固定資産の売却による収入	1	0
資産除去債務の履行による支出	△11	△69
無形資産の取得による支出	△12	△34
差入保証金の差入による支出	△115	△42
差入保証金の回収による収入	39	168
子会社株式の取得による支出	△13	—
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,488	—
その他	△24	△51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,253	△972

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 注記 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△193	35,040
長期借入れによる収入	5,333	2,008
長期借入金の返済による支出	△1,685	△1,402
社債の償還による支出	△10	△13
リース負債の返済による支出	△2,713	△3,091
配当金の支払額	△552	△0
非支配持分からの払込による収入	—	0
非支配持分への配当金の支払額	△110	△0
その他	△4	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	62	32,541
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30	△43
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,921	22,871
現金及び現金同等物の期首残高	13,248	17,918
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,170	40,790

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、以下の基準を早期適用しております。

IFRS	新設・改訂の概要
IFRS第16号リース	COVID-19に関連した賃料減免に関する会計処理を改訂

本改訂は、新型コロナウイルス感染症(以下、「COVID-19」という。)の感染拡大の直接的な結果として賃料減免を受けたリースの借手に対して、簡便的な会計処理を選択することを認めるものであります。

本改訂によれば、COVID-19に関する賃料減免のうち所定の要件を満たすものについて、これがIFRS第16号において規定される「リースの条件変更」に該当するか否かに係る評価を行わなくてもよいとする実務上の便法を借手が選択することができるとされております。

当社グループは、上記の要件を満たす賃料減免について本便法を適用しております。

また、本便法の適用により当第1四半期連結累計期間における税引前四半期利益が843百万円増加しております。

(セグメント情報等)

当社グループの事業内容は飲食事業であり、区分すべきセグメントが存在しないため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

基本的1株当たり四半期利益又は基本的1株当たり四半期損失及び希薄化後1株当たり四半期利益又は希薄化後1株当たり四半期損失、及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益又は親会社の所有者に帰属する四半期損失(△)	1,539	△7,304
四半期利益調整額		
子会社の発行する潜在株式に係る調整額	△0	—
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益又は四半期損失(△)	1,538	△7,304
発行済普通株式の加重平均株式数(株)	186,778,886	186,780,618
希薄化後の普通株式の加重平均株式数(株)	186,778,886	186,780,618
基本的1株当たり四半期利益又は基本的1株当たり四半期損失(△)(円)	8.24	△39.11
希薄化後1株当たり四半期利益又は希薄化後1株当たり四半期損失(△)(円)	8.24	△39.11
逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり四半期損失の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	連結子会社の発行する ストックオプション (ストックオプションの目的 となる株式の数12,000株)

(注)1. 「基本的1株当たり四半期利益又は基本的1株当たり四半期損失(△)」及び「希薄化後1株当たり四半期利益又は希薄化後1株当たり四半期損失(△)」の算定上、その他の資本の構成要素において自己株式として計上されている「従業員向け株式交付信託型ESOP」が所有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除す

る自己株式に含めております(前第1四半期連結累計期間1,999,847株、当第1四半期連結累計期間1,998,115株)。

2. 当第1四半期連結累計期間の希薄化後1株当たり四半期損失については、連結子会社の発行するストックオプションの行使が1株当たり四半期損失を減少させるため、潜在株式は希薄化効果を有していません。
3. 2020年3月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して基本的1株当たり四半期利益又は基本的1株当たり四半期損失(△)及び希薄化後1株当たり四半期利益又は希薄化後1株当たり四半期損失(△)を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。